

地方自治法施行令第167条の2第1項第5号 により随意契約をすることができる場合	今回の契約が左に該当すること等の説明
<p>緊急の必要により競争入札に付することができないとき。</p>	<p>1 競争入札に付していたのでは、時期を失し、契約の目的を達することができないことの説明</p> <p>2 見積を徴した事業者の概要</p> <p>3 見積合せをしていたのでは、時期を失し、契約の目的を達することができないことの説明</p> <p>本工事は、「岐阜県庁敷地再整備(その1)工事」を受注した「市川・岐建特定建設工事共同企業体」の代表構成員である(株)市川工務店が現場事務所の設営地として借用している用地を、県が利用する駐車場として整備する工事である。</p> <p>現場事務所の退去完了後、直ちに現場着手し新庁舎の開庁までに工事を完成させる必要があるため、速やかに契約し工事を行う必要がある。</p> <p>4 特定の者を選定した理由</p> <p>現場事務所の退去前から敷地内での現地調査や準備作業を行う必要があり、本契約の目的を達することができる者は、当該用地の現借入者である「(株)市川工務店」しかない。</p>

備考 この様式により難しいときは、必要な事項を含む適宜の様式によることができる。